

令和5年度 市長のタウンミーティング実施報告書（上野方地区）

会場名	上野方コミュニティセンター	日時	10月12日(木) 19時00分 ～20時45分
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画部長、総務部長、産業建設部長、民生部長、教育委員会事務局長、情報広報課長、地域協働課長、協働推進係長、情報広報課 広報広聴係長(司会)		
参加者数	28名	YOUTUBE 動画	視聴者数(最高時点) 21人 チャット(投稿数) 1件



1.市長講話

市長 村椿 晃 「自治基本条例・各地域におけるコミュニティセンターについて」
(20分程度 資料に基づき講話)

2.事前質問(地区から事前にいただいた提言・提案等について)

○ 現在魚津市は良い方に進行しているのでしょうか。寂しくなっているように感じます。
(村椿市長)

何をもって良い方向なのかということもありますが、まず市全体の経済的な活力という面からいうと、心配しているのは産業的な動きです。魚津市にあった事業所が、市の外に展開をするというような動きがあるのは、私もとても残念ですし、寂しくなったと言われれば確かにその通りかなと思います。色々な会社の方と話をしたり、意見を聞いてみたりするのですが、中々一筋縄ではいかないところもあります。いろんな事情がありますが、働く場を少しでも維持したいという思いがあります。私が市長に就任した頃から、全部で十いくつかの事業所が開設されたり、工場を拡張されたりというふうな形で動き始めました。それによって、それなりに効果は出ているとは思っています。若い人が働く場、雇用を少しでも増やすというようなことをしてきましたし、これからもやらなければいけないと思っています。

それから、これまで人口減に対して、何とか維持していきたい、人を増やしていきたいという思いでそういう施策を一生懸命やってきましたが、日本全体で人口が減っていく中で、近いところで取り合ってもしょうがないですし、なかなか難しいです。これからは、今住んでいらっしゃる方をしっかり

と支えるっていうようなことをもっと力入れてやっていくべきだと強く思っています。そういう意味でこのコミュニティといったものに対し、持続できるような応援内容について市役所全体で考えていきます。

○ 数年前魚津市は財政難と言われ、運営を工夫して財政は安定したと伺いましたが、今の状況はどうなのでしょう。また、数年で乗り切れる財政難は不安財政ではないと思いますがどうなのでしょうか？

(村椿市長)

まず、なぜ財政が大変になったかですが、いくつかの要因があります。平成26年に東山で災害が起きました。大雨災害の復旧対応に10億ぐらいのお金を必要としていました。もちろん災害なので国からの補助金などもあるのですが、そういうもので対応できないものもたくさんありました。加えて、平成27年頃から学校統合整備が本格化しました。2つの統合校を作ること、それに関連した事業をやっていくのに、50億から55億ぐらいかかり、財政調整基金という基金を取り崩しました。今ほど言った東山の災害があつて、2つの小学校を統合し終わるまでに13億円あった財政調整基金が2億6000万まで減りました。約10億の貯金をそれで使ったわけです。市民の皆さんのご協力もいただきましたし、色んな事業がコロナのために縮小してできなかった。通常できていたものができなくなり、そういう事情も相まって、2年前倒しにできたというのが実情です。

財政健全化になったなら、もっと積極的に何でもすればいいじゃないかという話もありますが、実はそうでもありません。魚津市の財政調整基金は10億を超えるところまで増えてはきましたが、富山県内の15市町村の中で下から3番目です。ようやく危機は脱して、これからスタートになったというのが正直なところ。色んなことをやるのにも、皆さんからいただいた税金だけではできないので、国の財源を活用するなど、色んな事業に応募して積極的に手を挙げてやろうとしています。

○ 魚津市の無形民俗文化財となるせり込み蝶六踊りの継承について

学校活動での市の文化財の継承について、どこに着眼点を置いて取り組んでいくのですか。

(村椿市長)

伝統文化をしっかりと守っていくことはとても大事なことだと思っています。子供たちにしっかりと伝えていくような活動や蝶六の文化を色んなところと共有するような機会を多く作っていきたいと思っています。

3.意見交換(地区からの提言・提案等について)

○ 今後コミュニティセンター化していくにあたり不安がある。事業をするならアイデアマンが必要になってくるが、市役所職員にアイデアを出してほしい。他の自治体よりも職員の待遇を良くして、優秀な人材を確保していくことが必要なのでは？

(村椿市長)

アイデアマンについては、専属で配置できるわけではありませんが、相談窓口は設置することになっています。まずはそこから始めて、どういう関わりを一緒にやっていけるかというのを考えていきたいと思っています。

- 学校統合で校区が広くなり、地区内での子ども同士の交流の場が減ってきています。
振興会でも事業に取り組んではいるが、市でも何かしてもらえないでしょうか。
(村椿市長)

何かをするにしても、場所が学校周辺に集約されると、それぞれの地域で顔を合わせるような集まりや行事が減っています。子どもたちが遊べるような機会や場所は、小さなものでも良いから作らなければならないと思います。答えになっていないかもしれませんが、この問題についてはしっかり考えてきます。